

株主のみなさまへ



第124期 中間報告書

2025年4月1日
～2025年9月30日

写真建物右: HirookaTerrace (石川県) / 発注者: 株式会社北國銀行
※写真建物左は、北國銀行本店ビル (2014年竣工)

子どもたちに誇れるしごとを。



〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16番1号
TEL 03-3561-1111 (大代表) <https://www.shimz.co.jp/>

清水建設は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

社長メッセージ

2025年度上半期の振り返り

建設業界においては、公共投資の底堅い推移と堅調な企業収益等を背景とした民間設備投資の持ち直しの動きが見られましたが、供給面では、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労務費上昇等による影響があり、引き続き状況を注視していく必要があります。

このような経営環境の中、当社は昨年度に引き続き、受注前審査の厳格化や精度の高い施工計画を実現するフロントローディングの推進、生産プロセス改革など、建設事業の収益力向上に向けた取組みに注力しており、その成果は着実に表れてきております。

建設以外の事業（不動産開発事業、エンジニアリング事業、グリーンエネルギー開発事業等）やグループ会社においても、着実に収益の確保・拡大が図られており、加えて、政策保有株式の積極的な縮減にも注力した結果、当上半期の連結純利益は前年同期比+354億円の461億円となりました。更なる業績改善に向けて、各事業の成長を加速し、事業ポートフォリオの一層の充実を図っていくとともに、デジタル・AIも活用した抜本的な業務改善等を通じて、経営環境に左右されない、より高い収益性を確保してまいります。

持続的な成長に向けて

私の経営者としての最も重要な使命の一つは、こ

れまで築き上げてきた経営基盤を更に強化し、シミズグループの持続的成長を揺るぎないものにする事です。外部環境の変化や社会・お客様の多様化するニーズを的確に捉え、不断の変革と挑戦にスピード感を持って対処してまいり所存です。

そのうえで目指していきたいと考えているのは「原点回帰による『シミズブランドの確立』」です。品質やコスト、工程への徹底したこだわりを通じて、当社の原点である建設事業の競争力強化を図るとともに、創業からの「誠実なものづくり」「進取の精神」、そして「論語と算盤」に象徴される理念に今一度立ち返り、時代を先取りした価値、社会やお客様の期待を超える価値を提供してまいります。

加えて、社内外のコミュニケーションの更なる活性化と働き方改革に取り組むことで、従業員が仕事に対する誇りを持ち、働きがいを感じながら業務に邁進できる職場環境を構築してまいりたいと考えています。そして、シミズグループの未来を切り拓いていくために、必要な改革や改善を推し進めていく決意です。

持続可能な未来社会の実現に貢献するべく、私たちはグループ一丸となって挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、今後もなにとぞ変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 **新村 達也**

Q1 建設業を志した理由及びそのきっかけは？

A 父が建築設計士だった関係で、子どもの頃から建設途中の現場や竣工した建物を訪れる機会が頻繁にありました。そこで、ものづくりや建築に興味を覚えたことが、この世界に入るきっかけです。

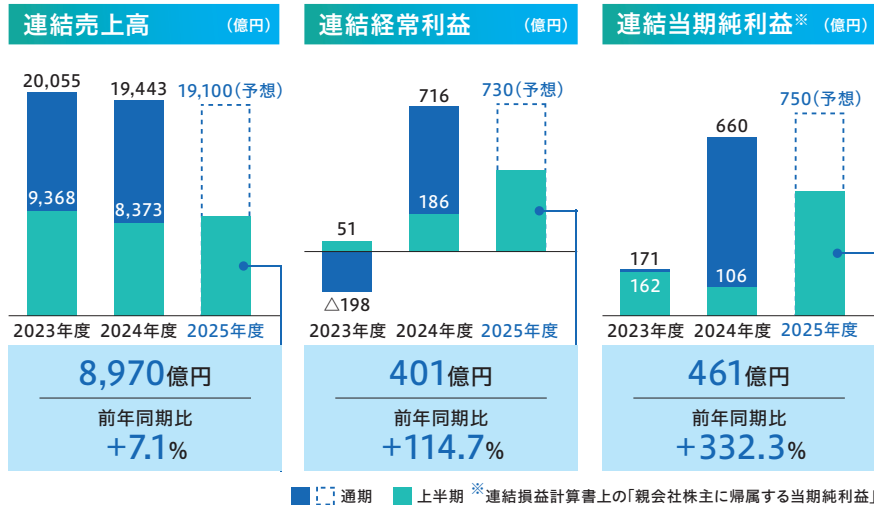
Q2 仕事をするうえでのポリシー、座右の銘は？

A 相手の話をよく聞くということを大切にし、自分の考えを一方向的に押し付けないようにすることを意識しています。座右の銘は、「失意泰然、得意冷然」です。

Q3 理想の社長像は？

A ビジョンを明確にし、ブレない芯を持って自ら先頭に立ち、邁進する姿が理想です。

業績ハイライト PERFORMANCE HIGHLIGHTS



■ 当上半期の業績について

当社グループの当上半期の売上高は、当社単体における手持ちの大型工事が順調に進捗したことなどにより完成工事高が増加したことから、前年同期に比べ7.1%増加し8,970億円となりました。

利益については、完成工事高の増加及び工事採算の改善による完成工事総利益の増加や開発物件の売却による開発事業等総利益の増加などにより、経常利益は前年同期に比べ114.7%増加し401億円となりました。当期純利益は、保有株式の売却に伴う固定資産売却益が前年同期に比べ大きく増加したことなどにより、332.3%増加し461億円となりました。

■ 通期の業績見通し

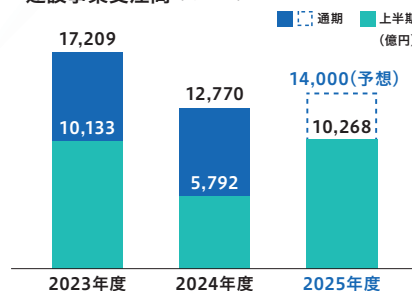
2025年度通期の連結業績は、売上高1兆9,100億円（前期比△1.8%）、経常利益730億円（前期比+1.9%）、当期純利益750億円（前期比+13.6%）を見込んでおります。

なお、このうち建設事業は、売上高1兆7,100億円（前期比+0.8%）、売上総利益1,770億円（前期比+12.1%）、開発事業等は、売上高2,000億円（前期比△19.5%）、売上総利益350億円（前期比△6.9%）を見込んでおります。

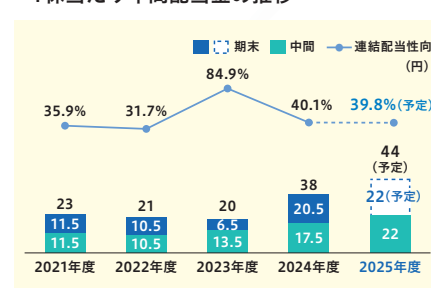
■ 事業別情報 (連結)

	売上高		売上総利益	
	上半期	通期見通し	上半期	通期見通し
建設事業 国内建築事業・国内土木事業・海外建設事業	8,001億円 前年同期比 +9.2%	1兆7,100億円 前期比 +0.8%	799億円 前年同期比 +33.8%	1,770億円 前期比 +12.1%
開発事業等 不動産開発事業・エンジニアリング事業・グリーンエネルギー開発事業 他	968億円 前年同期比 △7.4%	2,000億円 前期比 △19.5%	204億円 前年同期比 +41.1%	350億円 前期比 △6.9%

■ 建設事業受注高 (当社単体)



■ 1株当たり年間配当金の推移



■ 主な受注工事

建築工事	中央日本土地建物株式会社	内幸町一丁目街区南地区第一種市街地再開発事業A棟新築工事
	赤坂七丁目2番地区市街地再開発組合	赤坂七丁目2番地区第一種市街地再開発事業施設建築物等新築工事
	株式会社十六フィナンシャルグループ	(仮称)十六フィナンシャルグループ本社計画建設工事
土木工事	東海旅客鉄道株式会社	中央新幹線第二大井トンネルほか新設
	環境省	令和7～10年度中間貯蔵大熊地区受入分別処理・貯蔵工事

その他財務情報の詳細は
当社コーポレートサイトをご覧ください。



トピックス TOPICS

重要文化財・旧三笠ホテル建造物保存修理工事が完了

約120年の歴史を誇る木造純洋風建築の旧三笠ホテル。「軽井沢の鹿鳴館」とうたわれた名建築を未来へつなぐための工事が、約5年半をかけて完了し、2025年10月1日に展示施設としてリニューアルオープンしました。工事は3期に分かれており、第1期・第2期では、保存修理として、当時の仕様を踏襲した最小限の補修で大正末期頃の状態に建物を復原のうえ、耐震補強を実施。第3期の防災・活用整備工事では、施工中の火災リスクに配慮し、火を使わない工法を用いて、エレベーター棟等を新設しました。当社は、これまで携わった多くの文化財の保存修理工事のノウハウを生かし、今後も伝統建築技術の継承や保存修理に取り組んでいきます。



旧三笠ホテルの外観

「温故創新の森 NOVARE」「東急歌舞伎町タワー」がBCS賞を受賞

当社が整備した「温故創新の森 NOVARE」及び建設に携わった「東急歌舞伎町タワー」が、国内の優れた建築物を表彰する「第66回BCS賞」（日本建設業連合会主催）を受賞しました。当社はこれからも、BCS賞が重視する建築主・設計者・施工者の三位一体の取組みを通じて、良好な建築物の創出と文化の進展に寄与していきます。



温故創新の森 NOVARE

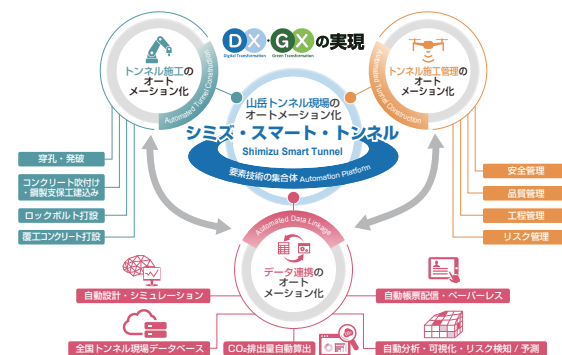


東急歌舞伎町タワー

山岳トンネル現場のオートメーション化で生産性向上

山岳トンネル現場のオートメーション化を志向する次世代型トンネル構築システム「シミズ・スマート・トンネル」の現場適用を開始しました。本システムの導入により、トンネル工事の「施工」「施工管理」「データ連携」の各領域における様々なオートメーション化技術を個々の現場の施工条件に合わせて統合的に活用することができ、現場の生産性と安全性の向上、労働環境の改善が見込まれます。

建設業界では担い手不足や熟練作業員の減少による生産能力の低下が喫緊の課題となっています。当社は、引き続き工事現場のオートメーション化を推進することでこれらの問題に対応し、社会インフラの整備に寄与していきます。



「シミズ・スマート・トンネル」概要図

次世代型トンネル構築システム
「シミズ・スマート・トンネル」
<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2025/2025024.html>



「CREVAおおくま」 「クマSUNテラス」

2025年3月、福島第一原発の事故により失われた地元産業の復興と町民の利便性向上を目的とした「CREVAおおくま」(産業交流施設)と「クマSUNテラス」(大野駅西商業施設)がオープンしました。震災前までにぎわっていた駅前の商店街のように、町の玄関口として、様々な人が自然と集い、交流し、賑わいあふれる場となることが期待されています。

■工事概要

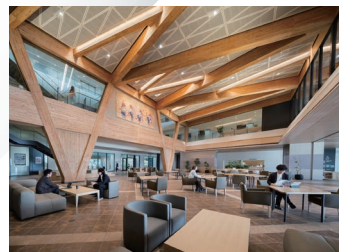
所在地：福島県双葉郡大熊町下野上大野
116-5、6

発注者：大熊町

設計監理：清水建設・関・空間設計
特定建設工事共同企業体



CREVAおおくまの外観



シミズ ハイウッドなどを取り入れた木質大空間



大熊町内が一望できるラウンジ



CREVAおおくまの全景。手前に広場や商業施設のクマSUNテラスが広がる

お客様から



大熊町
企画調整課
主幹
児玉 達朗 様

愚直な仕事ぶりに感謝

プロジェクトを通じて御社の印象は、一言でいえば愚直。町の事業意図や自然環境を深く理解した上で、設計も施工も妥協を許さず、隅々まで作り込まれていました。完成した建物は開放感にあふれており、訪れた人は誰もが心地良いと感じてくれます。



工事長
伊藤 正明

徹底した工程管理で 短工期での施工を実現

「CREVAおおくま」はハイブリット木質構法の「シミズ ハイウッド」などを取り入れ、鉄骨梁や柱を木材で覆った木質大空間が特徴です。14カ月という短い工期を守るため、資材の先行発注、もの決めスケジュールを厳守するなど、現場のキーデートを遅らせない計画通りの工程管理を徹底しました。



設計担当者
プロポーザル・ソリューション推進室
プロジェクト計画部 グループ長
南野 友子

多様な交流を通じ 基幹産業創出の場に

入居企業や来訪者が地域の課題や生活に触れながら、町の新しい基幹産業を生み出す場となることを目指しました。様々な人の交流を促進するため、開かれた共用部とし、デザイン面でも天井の斜格子など随所に斜めの意匠を取り入れ、空間の広がりを演出。さらに、木を積極採用し、居心地の良い町のリビングのような場を創出しました。



施工担当者
井元 厚太郎

手描きのスケッチで 正確な施工手順を共有

意匠性が高く、設計者の意図を正確に現場へ伝えることに苦労しました。現場の作業員の視点に立ち、どうすれば正確かつ円滑に進められるか、イメージを共有できるかを考え、手描きスケッチを何枚も作成し、作業を進めました。竣工後、お客様から感謝の言葉をいただき、頑張った良かったと思えました。

サステナビリティへの取組み SUSTAINABILITY

■ 環境ビジョン達成に向けた 取組み方針とロードマップを公表

2025 年 10 月、シミズグループの環境ビジョンである「SHIMZ Beyond Zero 2050」に対する取組み方針とロードマップを新たに策定しました。

これまで 2021 年に公表した環境ビジョンに基づき様々な施策を展開してきましたが、改めて取組み方針とロードマップを公表することで、社内に向けては環境ビジョンに対する更なる当事者意識の醸成、対外的には更なる環境戦略のアピールを図ります。

環境ビジョンで掲げる「脱炭素社会」「資源循環社会」「自然共生社会」の三つの柱ごとに策定した取組み方針とロードマップに基づき、シミズグループとしての環境活動をより一層加速させ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



各ロードマップについてはこちらから



■ 建設現場で発生した多種多様な 廃プラスチックを再資源化

当社は、建設現場で発生するプラスチック廃棄物のマテリアルリサイクルを推進しています。その一環として、現場で廃棄物の管理を専門に行う作業員がセンサーを用いて多様なプラスチックを高度に分別したうえで、有価物として売却するスキームを構築しました。現場展開の初弾として「日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業」で、約 4,000m²の廃プラスチックを売却の対象と想定し取組みを進めています。さらに、同現場では、発生した廃プラスチックを新築建材の原材料として再生し、同一現場で循環利用する「Site to Site」型のマテリアルリサイクルも開始。当社は、このような取組みを他の建設現場に順次展開し、資源循環社会の実現に寄与していきます。

「Site to Site」型のマテリアルリサイクルスキーム



■ 「シミズグループAI基本方針」を策定

2025 年 6 月、AI が持つ可能性とリスクを正しく認識し、適切に対処するため、「シミズグループ AI 基本方針」を策定しました。

シミズグループでは、スマートイノベーションカンパニーの実現を目指す「中期 DX 戦略(2024-2026)」の一環として、デジタル技術を活用した価値創出を推進しています。AI 基本方針は、生成 AI サービスの導入・運用や、AI を活用した建設作業の自動化・効率化の取組みなど、AI 活用が拡大する中、権利侵害や情報漏洩等のリスクも踏まえて AI を最大限活用するための指針となります。

シミズグループは、持続可能な未来社会の実現に向け、役員・従業員が本方針を順守し、責任ある AI の活用に努めます。

シミズグループAI活用「6つの約束」

1. 人間中心のAI活用
2. 人権の尊重
3. 法令順守・権利保護
4. 安全性の確保
5. 説明可能性・透明性の確保
6. AIガバナンス体制の構築と人財育成

主な完成工事 & ニュース

COMPLETED PROJECTS & NEWS

主な完成工事



左上：第一生命橋キノテラス(東京都)
発注者 第一生命保険株式会社

左下：南愛媛第二風力発電所(愛媛県)
発注者 株式会社ジェイウインド

右上：NGK Collaboration Square DIVERS、新研究開発棟(愛知県)
発注者 日本ガイシ株式会社

右下：大阪医科薬科大学病院 新本館(大阪府)
発注者 学校法人大阪医科薬科大学

主なニュース

● 事業活動 (4件)

- ・ Torch Towerで地上階の鉄骨建方作業がスタート
- ・ 首里城正殿の外観復元が完了！
- ・ 国指定重要文化財 仁風閣の素屋根架設に着手
- ・ 油圧ショベルによる土砂掘削・ダンプ積載作業を自動化

● サステナビリティ (3件)

- ・ ケニア共和国の環境とインフラに関わる問題解決に寄与
- ・ 「SUSMICS-C」と「湿地グリーンインフラの共創」が土木学会環境賞をダブル受賞
- ・ 熊本大学病院、熊本県と災害医療に関する包括連携協定を締結

● DX (2件)

- ・ 「DX注目企業2025」に選定
- ・ 自律施工型ブルドーザー「Smart Dozer」による盛土工事の実証施工を開始

● グループ経営 (2件)

- ・ BIM/CIMを基軸に道路施工現場のDXを推進(日本道路)
- ・ クレーン用デジタル合図無線の技術実証に成功(エスシー・マシーナリ)

● その他 (2件)

- ・ 保有特許200件超を同業他社に開放し、建設産業全体の技術の底上げに貢献
- ・ 都市開発がもたらす街の人流変化をシミュレーション